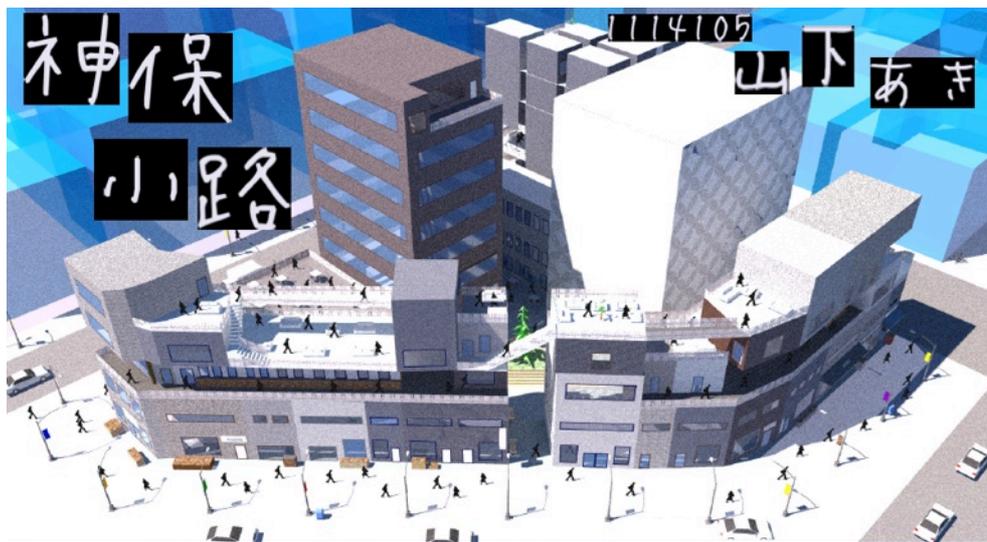


神保小路



山下安紀
建築設計計画研究室

□コンセプト (10pt)

1. 神田神保町はブックタウンとして多くの書店があり、またジャンルもかなり細分化されていて、どんな大型書店にも引けを取らない物だろうと思いました。しかしこのブックタウンでは本を探す事は出来ても、本を読む場所がほとんどないのです。そこで私はこのブックタウンを「本がたくさんあるブックタウン」ではなく、「紙の本でも、電子書籍でもここで読みたくなるブックタウン」を作ろうと試みました。

□プログラム (10pt)

1. この敷地において人の流れの中心を駅から考え、そこからこの敷地における書店へはどうアクセスするか、どうアクセスしやすいか。また、敷地の周辺だけでなく、敷地の中に新たな通路を設ける事で、人の流れを新しく創造し、ただこの敷地を一回りして、店先の書店、興味ある書店だけ訪ねて終わり、そのまま立ち去ってしまう。そのような事態にはならないように敷地内の建物の計画をしました。



□デザイン (10pt)

1. 神保町は下町の雰囲気漂う裏路地文化が根付いており、その文化と書店がうまく絡むようにデザインを心がけました。具体的には基本的な書店のベースは残しつつ、それ以上の主に3階以上で、路地を意識しやすいよう横の動線を多く取り入れ、また神保町の路地ということでその特色を出す為に、路地のあらゆる所に本棚を配置しました。そうすることで、ここは神保町の路地だという雰囲気が認識しやすくなったかと思います。

